

第66回 静岡リハビリテーション懇話会

～講演内容～

特別講演： 「認知症の非薬物予防療法：リハビリテーションの視点から」

佐治 直樹 先生

(国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 物忘れセンター 副センター長)

一般演題：

1.自由演題 全20題募集 発表時間6分 質疑応答3分

2.指定演題 発表時間6分 質疑応答2分 全演題終了後フリーディスカッション20分

「認知症に関する内容：MCI～軽度」 全4題募集

「認知症に関する内容：中等度～重度」全4題募集

※なお演題募集期間に演題が予定数を上回った場合、ポスター掲示での発表をお願いさせていただきます。ご理解のほどよろしく願いいたします。

シンポジウム：以下2題

【シンポジウム①】 「災害時のリハビリテーション」

災害リハビリテーションについての経験や活動について講演いただき、災害リハの療法師の活動の意義、課題や展望などを共有することで、リハビリテーションに関わる多くの方の理解を深めると共に、関心を持つ機会とする。

座長：渡邊 浩司 先生 医師 中東遠総合医療センター

シンポジスト：高柳 勇太 先生 理学療法士 浜松医科大学付属病院

村岡 健史 先生 作業療法士 常葉大学 浜松キャンパス

泉 千花子 先生 言語聴覚士 ずずかけセントラル病院

【シンポジウム②】 「リハビリテーション医療と多職種連携」

リハビリテーション医療において、口腔・栄養管理を多職種で協働して行うことでADL向上、低栄養改善、健康寿命の延伸などに効果があり、口腔栄養リハビリテーションの一体的取り組みが評価されている。多職種をシンポジストに迎え、取り組みや実践をふまえた報告からより質の高いリハビリテーション医療を考える機会とする。

座長：有本 直人 先生 医師 磐田市立総合病院

シンポジスト：橋詰 桃代 先生 歯科衛生士 浜松市リハビリテーション病院

片山 昌平 先生 看護師 ずずかけヘルスケアホスピタル

秋山 直登 先生 言語聴覚士 聖隷袋井市民病院

※4月より聖隷クリストファー大学

森 翔平 先生 管理栄養士 磐田市立総合病院